

# 平成17年度 地域活性化懇談会が 庄内・置賜で開催される

地域活性化懇談会が2月9日に酒田市、2月14日に米沢市で開催された。

各懇談会には、千歳会長をはじめ斎藤副会長、安部副会長、野村副会長の本会役員のほか、総合支庁、酒田市、米沢市、鶴岡市の各担当課、商工組合中央金庫、酒田商工会議所、鶴岡商工会議所、米沢商工会議所、組合代表者が出席した。

懇談会のはじめに、本会の野村副会長から山形県中央会の現況や事業の取り組み状況及び中央会のこれまで培われたノウハウ等の報告がなされ、さらに、今後の運営方針についての説明がされた。特に国の中小企業振興策の目玉となっている「新連携」について事例も交え詳しい説明がなされ中央会事業の中心に据えた活発な展開予定について説明された。

また、事務局より平成18年度事業の説明と新規事業として、企業の経営に役立ててもらおうと企画準備している「中央会データセンター事業」の説明後、各団体より状況について報告をうけた。



## 【酒田会場】

商工中金の相原酒田支店長から全国及び庄内地域の金融情勢についての説明がなされ、売上の増加傾向や設備投資の増加が報告された。庄内総合支庁、鶴岡・酒田両市、鶴岡・酒田両商工会議所から管内の動きや最近の取り組み事業の説明がなされ、列車脱線事故の影響や住宅着工の大幅な増加、山王商店街のナイトバザールの定着化、ダイエー・ジャスコ問題や「庄内ひな街道」等のトピックスの報告がなされた。

出席した組合代表者からは業界情勢や課題について発言がなされ、特に大型店問題や事業者の高齢化に伴う事業承継や後継者問題について、千歳会長からの助言や参加者間での活発な意見交換がなされた。



## 【米沢会場】

商工中金の大山山形支店長から県内地域の金融情勢の説明がなされ、従来の運転資金の需要から設備投資の貸出増加への変化報告がなされ、また、個人は預金から投資信託にシフトしていることなどが報告されるとともに、県置賜総合支庁、米沢市、米沢商工会議所から管内の動きや最近の取り組み事業の説明がなされるとともに、街歩きMAPや小野川ビジョン、あら町テント市、創業塾からの7名の開業者がでる等の報告がなされた。

出席した理事長さんからは業界情勢や課題、新しい取り組みや組合員代表者の代替わり増加等について発言がなされ、ブランドを活かした異業種による組織づくりへの支援要請がなされる等、参加者全員からの質疑や発言が相次ぎ、活発な意見交換がなされた。